

会 告 IV

第 5 回認定輸血検査技師試験結果

認定輸血検査技師制度協議会

協議会会長 湯浅晋治

審議会会長 大戸 斉

試験委員長 大戸 斉

2001年8月25日～26日（前期）大阪市大医学部と12月22日～23日（後期）京都大医療短大で行われた第5回認定輸血検査技師試験は以下の通りである。

1. 試験の基本方針

- 1) 試験に関わる委員は公正である事を第一義とし、試験内容が決して漏洩することが無いよう細心の注意を払った
 - ・電話でのやり取り
 - ・受験生の研修にタッチしない
 - ・試験委員は他分野の試験内容は互いにわからないようにして準備した
- 2) 試験に関わる委員は公正である事を貫いた
 - ・受験生と評価委員は同じ県内が当たらない組み合わせにした
 - ・実技試験の検体は同水準とした
 - ・いわゆる引っかけ問題は極力排除し、実力が反映されるようにした
- 3) 試験は認定輸血検査技師にふさわしい実力を求めた
 - ・輸血事故を防ぎ、安全な輸血が遂行できる能力を厳正に評価した
 - ・実技試験では細心の検査手技と熟達した検査技術を求めた
 - ・筆答試験では臨床医に適切な輸血情報を提供できる幅広い知識を求めた

2. 試験の概要

受験申請者	235名
欠席・受験辞退	15名
実受験者	220名（前期138名、後期82名）

今回は、実技試験のうち、血液型判定と赤血球抗体解離試験において認定申請者の実力の違いが目立った。氏名の記入ミス、凝集の強度を記載しない、試験管に標別しない、再検を行わない、部分凝集が見出せない、部分凝集をすぐ亜型と思い込む、反応パターンから最も疑われる抗体と否定できない抗体を正しく推定できないなどが主な減点であった。

筆答試験では記述問題、計算問題に答えられない認定申請者が多かった。

1) 筆答試験		前期	後期	昨年
素点	平均	70.0	67.1	68.4
	最高点	85.5	80.4	90.4
	最低点	40.6	44.1	36.9

レポート (カリキュラム委員会) (A:+5、B:+2.5、C:0、D:-2.5、E:-5) 加味後の点数

平均	70.4	67.9	70.0
最高点	86.9	82.3	95.4
最低点	40.6	44.1	35.1

2) 実技試験	前期	後期	昨年
平均	48.2	51.8	68.2
最高点	84.7	86.2	92.2
最低点	11.7	6.8	1.7

3. 総合判定

筆答試験と実技試験をともに合格した申請者は 84 名 (合格率 38%) であった。

前期受験合格者 53 名 (38%)、後期受験合格者 31 名 (38%)

4. 実技試験採点基準 (減点方式、各検体毎に評価)

1) 血液型判定

大減点 (-20~-50)

患者氏名の書き間違い、受験番号の記入ミス、血液型判定の誤り

中等度減点 (-10~-15)

オモテ試験のみで血液型決定、輸血可能な血液を正しく選択できない、Mixed field を追加試験無しで亜型と決定

小減点 (-3~-5)

抗体保有患者への適合血選択不十分、Mixed field が判定できない、Mixed field に対する追加試験を記述できない、オモテ、ウラ不一致検体のコメントが不十分、試験管やスライドに識別標記をしない、試験管に血球を先に入れる、再検を行わない、スライド法で 2 分以内に判定しない、遠心器回転数の誤選択

微小減点 (-1~-2)

血球洗浄をしない、血球濃度が不適正、試薬・検定の滴下数が指示書に従わない、試薬・検体を混和しない、試験管の振り方が不適切、判定時の観察を 1 本ずつ行う、判定毎に結果記入をしない、スライド法で+と-しか記載しない、Mixed field 検体で前医に輸血の問い合わせをしない

2) 赤血球抗体解離同定試験

大減点 (-20~-40)

受験番号・氏名の記入忘れ、選択患者の間違え

中等度減点 (-10~-15)

最も疑われる抗体の不正解、否定できない抗体の不正解

小減点（-3~-5）

患者氏名の記載ミス（誤字・脱字を含む）、凝集の強度が正しく判定できない、+を-と判定、-を+と判定、判定保留・判定不能、溶血が無いのに溶血あり、不要なコメントの記載、凝集パターンの誤り、IgG 感作血球の結果を記載しない、疑われる抗体に過不足

微小減点（-1）

試験管に患者識別をしない、洗浄時の生食液量（試験管の 8 割程度）が不適切、洗浄噴射ピンを管壁に接触、洗浄時の混和不足、洗浄回数（3 回以上）の不足、最終洗浄後の生食液除去不足、抗グロブリン試薬後の混和を省略、IgG 感作血球による確認試験の省略、注意不足で血球が飛散、パネル血球分注前に番号を記入しない、パネル血球をしよう前に均一な浮遊液にしない、操作手順書に従わない、試薬や器具を与えられた数量で完了できない、設問内容や操作法を手順書で理解できない

3) 血小板抗体検査は概ね良くできていたのいで省略する